取説 No.BL-9504-12

キトーベルトラッシング

（BLR, BLL, BLP, BLO, BLC 形共通）

取扱説明書

お 客 様 へ

・このたびは、キトーベルトラッシングをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
・使用される方ならびに保守管理される方は、本書を必ずお読みください。
本書をお読みになった後は、いつでも読めるよう、お手元に保管してください。

はじめに

このキトーベルトラッシングは、荷物の固縛・緊締・結束作業を目的に設計製作されております。
つり具ではありませんので、玉掛け作業には使用できません。

■免責事項について

●火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他使用環境条件を逸脱した使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
●本製品の使用中または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、荷の損傷など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
●この取扱説明書の記載内容を守らないこと、および使用範囲を超えたことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

操作・使用・保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、安全の情報、注意事項のすべてに習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では、安全の情報および注意事項を「危険」「注意」の 2 つに区分しています。

表示の説明

⚠危険　回避されないと死亡または重度の傷害につながりうる切迫した危険な状況を示す表示。

⚠注意　回避されないと軽度または中程度の傷害につながる潜在的に危険な状況を示す表示

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。
本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

図記号の説明

禁 止

⃠ は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
この取扱説明書では ⃠ （一般禁止）図記号を使用しています。

強 制

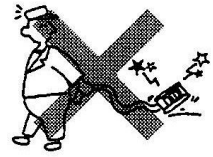
❗ は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
この取扱説明書では ❗ （一般指示）図記号を使用しています。

■取り扱い全般・管理について

⚠危険	
禁 止	●製品および付属品の改造・分解はしないでください。 この内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。
強 制	●取扱説明書の内容を熟知した上で、操作・使用してください。 ●製品のベルトには警告ラベルが縫い付けられています。警告ラベルの内容に従ってください。 これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠注意

禁 止

●製品を引きずったり、落下させたりしないでください。
ベルトラッシングが破損したり傷がついたりして、使用中の荷の落下の原因となり、傷害、または物的損傷発生の恐れがあります。
これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

強 制

●製品を破棄する場合は、使用できないように分解し、地方自治体の条例または事業体が定めた規則に従って廃棄してください。
●日常点検は使用者が行ってください。
●定期点検は、保守管理者が行ってください。
これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

取り扱い方法

■使用環境

▌周 囲 温 度: −30～50℃の範囲でご使用ください。
やむをえず50℃を超える場合は、ベルトラッシングへ作用する負荷が通常の 50%までとなるよう減率を考慮し、100℃以下でご使用ください。

▌耐 薬 品 性: 薬品の雰囲気では使用できません。

▌不 適 合 環 境: 有機溶剤、火気を有する場所、酸性の強い場所。

▌耐 久 性: 荷のベルトが掛かる部分がざらざらしていたり、鋭角であったりすると、ベルトの強度が低下します。ベルト保護のために、オプションとして準備している保護コーナーやコーナープロテクター等を使用してください。

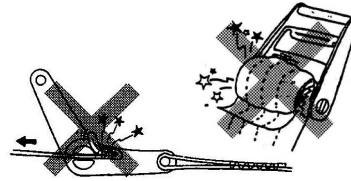
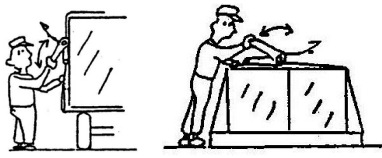
▌ベルト破断強度:ベルトに縫い込まれた黒糸の本数がベルト破断強度を示します。

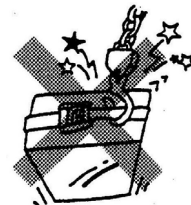
1 本:l tf
2 本:2 tf
3 本:3 tf
5 本:5 tf

・BLO015 のベルトは黒糸が 1 本ですが、ベルト破断強度は 1.5tf です。
・BLP045 のベルトは黒糸が 5 本で、ベルト破断強度は 5tfですが、製品破断強度は 4.5tfとなります。
・ベルトラッシングの製品破断強度は、その構成する部品の中で最も低い破断強度と同一となります。(ベルト破断強度が製品破断強度と異なる場合があります。)

▌特殊条件下でご使用になられるときは、事前にキトーまでご相談ください。

■注意事項

⚠危険

禁 止

●ベルトラッシングは玉掛け作業に使用できません。
キトーチェンスリング 100・ポリエスタースリングをご使用ください。
●ベルトがねじれた状態で使用しないでください。
●ベルトを結んで使用しないでください。
●荷を固縛、緊締、結束したまま長時間放置しないでください。
●日常点検で廃棄と判定されたベルトラッシングは使用しないでください。
これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠危険

強制

●荷のベルトが掛かる部分がざらざらの場合や、鋭角である場合は、
　保護コーナーやコーナープロテクター等を使用してください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

⚠注意

禁止

●ラチェットバックルタイプは、巻き取り軸でベルトを巻き取り過ぎ
　ないようにしてください。

●調節側ベルトの抜け止め部分には、無理な力を加えないで
　ください。

　これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

強制

●荷締め作業は足場の良い場所で、手で行ってください。

●ラチェットバックルタイプ、プルラチェットバックルタイプでは、
　固定側ベルトを下側または手前側にくるようにベルトを掛け
　てください。

●水や油が付いている場合は、拭き取ってから使用してください。

　これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害の恐れがあります。

■日常点検

⚠危険

強制

●使用前に日常点検を実施してください。
　異常を発見した場合は、使用を中止し廃却してください。

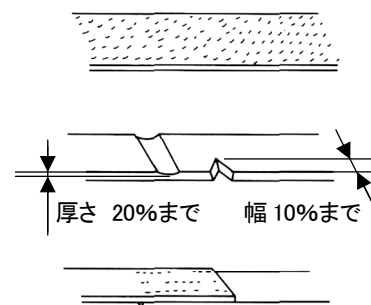
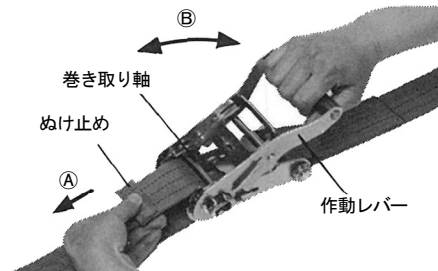
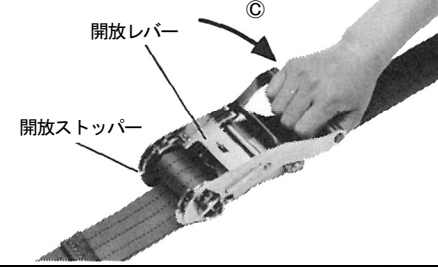
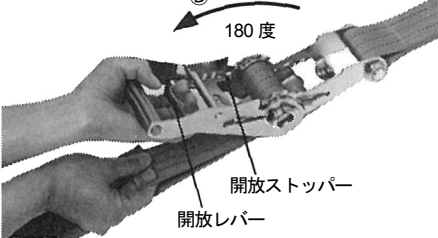
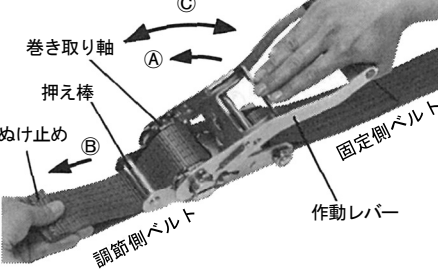
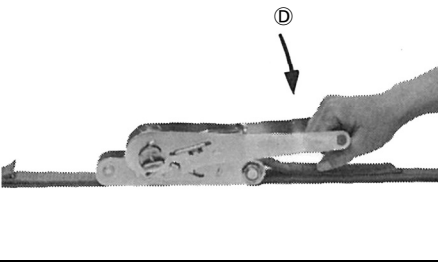
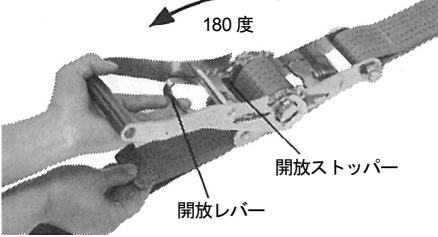
日常点検を行わないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

▌ベルト部

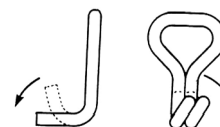
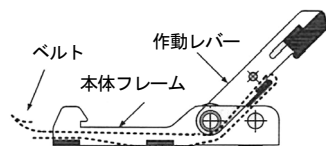
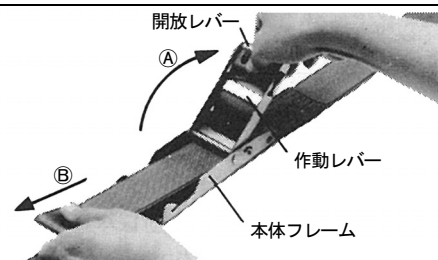
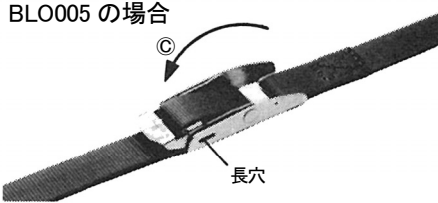
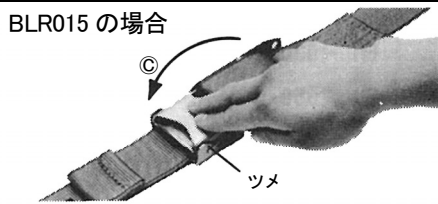
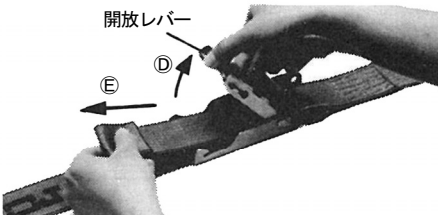
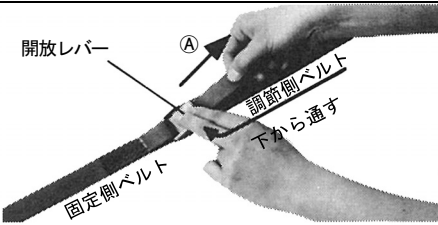
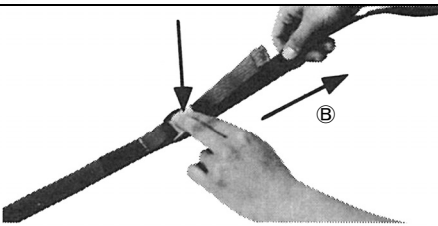
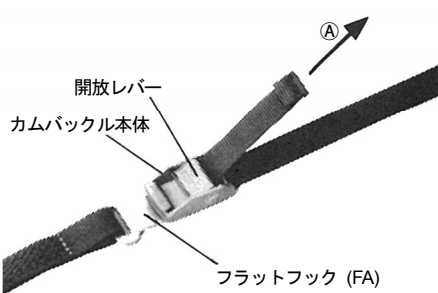
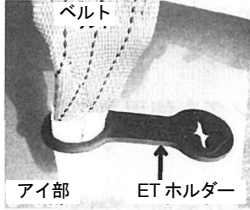
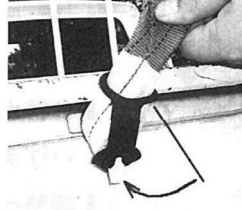
① 表面に異常はないか。
　・織目がわからないほど毛羽立っているもの、縦糸の損傷が著しいものは廃却。
　・変色、溶融があるものは廃却。

② 傷はないか。
　・幅方向に幅の 10%、厚さ方向に厚さの 20%相当の切り傷や引っ掛け傷
　　などのあるものは廃却。

③ 重ね合わせや調節側ベルト抜け止めの縫製部に異常はないか。
　・目立った切り傷、すり傷、引掛け傷のあるものは廃却。
　・縫糸が切断、ベルト同士の剥離が少しでもあるものは廃却。

④ タグ表示等がはっきり読めるか。
　・読めないものは廃却。

▌カナグ部

① 変形や傷、腐食、部品の脱落はないか。
　・著しい変形や傷、腐食、ガタつきがあるもの、部品が脱落しているものは廃却。

② ラチェットバックルタイプにおいて、ラチェットバックルの動きがスムーズか。
　・動きが悪ければ、軸、軸受部に適量（他の部分に付着しない程度）のマシン油をつけてください。
　・巻き取り軸の回転支持部に著しい摩耗があるものは廃却。

③ 正常に作動しているか？
　・作動不良がある場合は廃却。

▌その他

保護コーナーに穴やほつれ、エッジ接触部に破れがあるものは交換。（マジックテープ式保護コーナー等を利用）

■操作のしかた

種類	型式	操作方法
ラチェットバックル式	BLL005 BLR005 BLR010 BLR020 BLR030 BLR050	〔縮めつけかた〕 ① 調節側ベルトの端末を巻き取り軸のミゾに通し矢印Ⓐの方向へ引いてベルトのゆるみを取る。 ② 作動レバーを矢印Ⓑのように前後へ繰り返し操作させてベルトを巻き取りながら締めつける。 注）ベルトは巻き取り軸に最低 2 巻以上巻きとること。 又、ベルトの端末のぬけ止め部分は巻き取らないこと。 ③ 作動レバーを矢印Ⓒの方向へ完全にたおす。 〔ゆるめかた〕 ① 作動レバーと開放レバーを一緒に握った状態で矢印Ⓓの方向へレバーを起こし、そのまま 180 度開くと巻取り軸が開放状態となりベルトがゆるむ。 ② ベルトをゆるめるときは、開放レバーの先端を開放ストッパーにかませ調節側ベルトを引く。
プルラチェットバックル式	BLP045	〔締めつけかた〕 ① 作動レバーと開放レバーを一緒に握りⒶの方向へレバーを起こしてロックをはずし作動レバーが動くようにする。 ② 調節側ベルトの端末を巻き取り軸のミゾに通し必ず押え棒の下を通して矢印Ⓑの方向へ引いてベルトのゆるみを取る。 ③ 作動レバーを矢印Ⓒのように前後へ繰り返し操作させてベルトを巻き取りながら締めつける。 注）ベルトは巻き取り軸に最低 1.5 巻以上巻き取ること。 又、ベルトの端末のぬけ止め部分は巻き取らないこと。 ④ 作動レバーと開放レバーを一緒に握りⒹの方向へレバーをたおし、開放レバーをはなしてロックさせ作動レバーを固定する。 〔ゆるめかた〕 ラチェットバックルタイプと同様。

<table>
<tr>
<td rowspan="2">オーバーセンターバックル式</td>
<td rowspan="2">BLO005
BLO015</td>
<td>〔締めつけかた〕
① 作動レバーについている開放レバー(BLO005 は無し)を押して作動レバーを矢印Ⓐの方向へ起こす。調節側ベルトを矢印Ⓑの方向へ引いて、ベルトのゆるみを調節する。
(ベルトの締めつけ力の調節)
② 作動レバーを矢印Ⓒの方向へカチッと音がするまで押し込み、荷を固定する。
BLO005 は、本体フレームと作動レバーの長穴が一致していること。
BLO015 は、開放レバーが本体フレームのツメでロックされていること。
※ベルトが本体カナグから抜けてしまった場合には、下図のようにベルトを通して下さい。
ベルト
作動レバー
本体フレーム</td>
<td>開放レバー
Ⓐ
作動レバー
Ⓑ
本体フレーム
BLO005 の場合
Ⓒ
長穴
BLR015 の場合
Ⓒ
ツメ</td>
</tr>
<tr>
<td>〔ゆるめかた〕
作動レバーについている開放レバー(BLO005 は無し)を押して作動レバーを矢印Ⓓの方向へ起こす。調節側ベルトを矢印Ⓔの方向へ引くとさらにゆるむ。</td>
<td>開放レバー
Ⓓ
Ⓔ</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">カムバックル式</td>
<td>BLC002
BLC010</td>
<td>〔締めつけかた〕
① 開放レバーを強く押し調節側ベルトの端末をバックルの下側からとおす。
② 開放レバーをはなしバックルに通したベルトを矢印Ⓐの方向へ強く引くとベルトがしまる。

〔ゆるめかた〕
① 開放レバーを押すとベルトがゆるむ。
② 押したまま調節側ベルトを矢印Ⓑの方向へ引くとゆるむ。</td>
<td>開放レバー
Ⓐ
調節側ベルト
下から通す
固定側ベルト
Ⓑ</td>
</tr>
<tr>
<td>BLC002
BLC010
FA 付</td>
<td>〔締めつけかた〕
① 荷にベルトを掛けフラットフック(FA)をカムバックル本体の下側から引掛ける。
② 調節側ベルトを矢印Ⓐの方向へ強く引くとベルトがしまる。

〔ゆるめかた〕
① 開放レバーを押すとベルトがゆるむ。
※調節側ベルトはバックルからぬけません。</td>
<td>Ⓐ
開放レバー
カムバックル本体
フラットフック (FA)</td>
</tr>
</table>

ETホルダー	端末仕様がETの場合	ETホルダーは、締め付け作業を行う前に、トラックなどへの引掛け部(ロープフック)から、ベルトラッシングのアイ部が脱落するのを防ぎ、作業性を向上させるものです。 ベルト / アイ部 / ETホルダー ①ETホルダーのリング部にアイ部を通す。 引掛け部 ②アイ部を引掛け部に掛ける。 ③ETホルダーの十字穴側を引掛け部に掛ける。

■管理のしかた

- 職場におけるベルトラッシングの管理責任者を決めてください。
- 職場における作業規準や点検基準を決めてください。点検基準作成にあたっては、この取扱説明書の日常点検を参考にしてください。
- 職場において、教育による作業規準の徹底を図ってください。
- ベルトラッシングごとに管理No.を決め台帳管理をしてください。
- ベルトラッシングの消耗状態を点検から把握し、職場における使用期間を定め、定期的に新品へ交換してください。